

# 稲刈りに参加して（追加報告）

横浜市

日下部治子（南城町一丁目出身）

今年のJネットの稲刈りは九月二十四日（土）でした。小野塚さん、早川さんと三人で前日の昼間東京を発つて長野経由で高田に着き上越市役所企画課の栗本さんに迎えていただき、打合せのあと、この春から高田のふるさとに転居なさった松川副会長にお目にかかり、林泉寺や謙信公ゆかりの春日山にお連れいただき夕暮れ間近の史跡を見学しました。

昔の私達の暮しは、住まいのあつた旧市内の町内とその近くを足で用を足して

歩く日々でしたから、聞き覚えていても行ったことのない所が沢山あることをつくづく思います。

夕方には和久井会長も到着され、仲町で夕食のあと列車で直江津駅前の宿に着き、翌朝の稲刈りにそなえました。

長野からの信越沿線の眺めはもう稲刈りを終えた田んぼが多く、「明日は私達も……」の思いを強くしました。

作業衣装で朝食をすませ、栗本さんに拾っていたたき、湯つたり村の近くの棚

田に向かいましたが、降りだした雨の中で道に迷いながら辿り着きました。

先に着いてもう刈りはじめておいでの方達に続いて、鎌を片手に田んぼにおりて行きました。雨中の稲刈りは三度目にして初めて、株をつかむ左手の軍手はすくにしぼれるくらいになりました。風雨に遭つたのか一部倒れた稲もありました。毎年指導して下さる達人が、稲の根のほうにまわつて刈ると薬だと教えて下さり、有難うかがい早速実行しました。

雨に濡れた稲は重く、はさ木に掛けやすいように束ねるのもコツが要るのですが、束ねた稲をはさ木の所まで運ぶのも力が足りず、少し小束にしていたたきよ

ろようと運びました。はさ木の上で待つ方に、うまく稲束を投げ上げられると嬉しいものです。

後日、棚田の持主曾我さんのお話でわかつた事は、一アール当りの収量が四九キログラムで、昨年の四三キログラムより良いとのこと、雨で重かつただけではなく実りも良かったことを知りました。

作業中は感じませんでしたでしたが、終る頃には濡れた衣服で寒く、湯つたり村に寄つて、生き返つた気分で帰つて来ました。

小学校の時、学校の田んぼに数株植えた思い出が懐かしく、来春は田植えから参加したいと願つております。